

相談先や連絡先

プランのことを知りたいときは
障害福祉課 03-5744-1700 / FAX 03-5744-1592

わからないときや困ったときは
生活などのことで相談したいとき
大森地域福祉課 03-5764-0654 / FAX 03-5764-0659
調布地域福祉課 03-3726-4140 / FAX 03-3726-5070
蒲田地域福祉課 03-5713-1505 / FAX 03-5713-1509
大田区社会福祉協議会 03-3736-2022 / FAX 03-3736-5590

おおた 障がい施策 推進プラン

『おおた障がい施策推進プラン』とは...
『おおた障がい施策推進プラン』とは、大田区がいろいろな人たちと力をあわせて、障がいのある人のためにどんなことをするのか書いてあるものです。
『おおた障がい施策推進プラン』には、以下の4つの計画が含まれています。
①「大田区 障害者計画」 ②「第7期大田区 障害福祉計画」
③「第3期 大田区障害児福祉計画」 ④「大田区発達障がい児・者支援計画」
令和6年4月から令和9年3月までの3年間の取組について書いてあります。



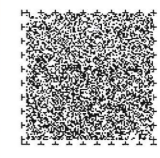
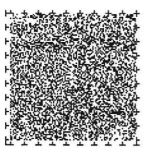
このパンフレットは、次の3つの団体の協力のもと、プランの検討を行う「大田区障がい施策推進会議」での議論を踏まえて、作成しました。

- 大田区手をつなぐ育成会
大田区肢体不自由児(者)父母の会
大田区重症心身障害児(者)を守る会



発行年月 令和6年3月
発行 大田区福祉部 障害福祉課
〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号
電話:03-5744-1700 FAX:03-5744-1592

この冊子は音声コード付きです。
右のマークが音声コードで、コードの位置を示すために切り込みを入れています。
専用の読み上げ装置等を使用して読み取ることで、音声で内容を聞き取ることができます。



おおた^{しょう}障がい^{しざくすいしん}施策推進プランでめざしていること

おおたく^{しょう}大田区が、『障がい者が地域で自分らしく安心して暮らせるまち』
になるようプランの取組を進めていきます。



ささ
支えます

こま
困りごと

ちいき^{ささ}地域を支える
さまざまな人や団体などが
障がいのある人を
協力して支えます。

たとえば、自治会・町会や
民生委員・児童委員、地域住民、
社会福祉法人、企業
などがあります。

みんなが、障がい
いろいろな困りごと
手話や点字がもっと
もっと福祉のサービスが
大切なことを一人で

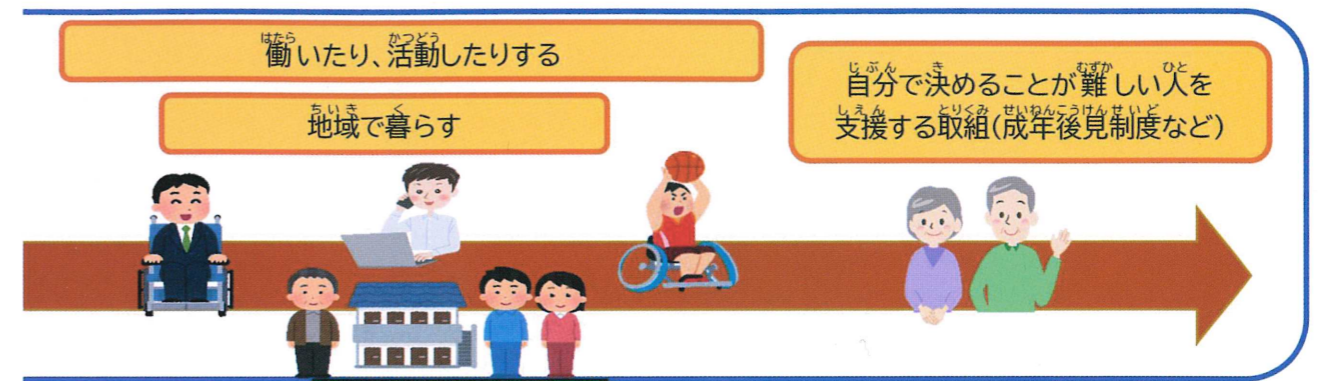
協力する

ちいき^{ささ}地域を支えるさまざまな人や団体と
協力して困り

視点1 一人ぼっちにしない・みんなを認めあう地域づくり

視点2 みんなが地域づくりに取り組めるようにします

視点3 みんなで協力して支える仕組みを作ります



こま
困りごと

ささ
支えます

のこを^{りかい}理解してほしいな
をどこに^{そうだん}相談したらいい?
ひろ
広まるといいのにな
つか
使いやすくなればいいな
き
決めることが難しい

そうだん^う相談を受ける
さまざまな専門の人たちが、
みなさんの困りごとをきいて、
協力して支えます。

相談する・
つなげる



たとえば、
障がい者総合サポートセンター、
地域福祉課や地域健康課、
相談支援事業所、社会福祉協議会
などがあります。

相談を受けるさまざまな専門の人たちが
ごを解決します。

基本目標1 自分らしく いきいきと
暮らし続けられるまち

障がいのある人が、自分の個性や強みを活かして、自分らしく暮らし続けられるまちをめざします。

1

障がいのある人が
必要なサービスを
受けられるように
支援をします。



たとえば・・・

→ サービスの内容が
もっと良くなるようにします。



2

障がいのある人が
住みなれた地域で
暮らすことができるように
支援をします。



→ 福祉に関わる人を増やしたり
育てたり、長く働けるようにします。

→ 地域で暮らすために
グループホームなどの
住むところを増やします。

3

障がいのある人の
「働きたい」や
「スポーツなどを楽しみたい」
という思いを応援します。



→ 働くことができるように
いろいろな支援をします。

→ スポーツなどのイベントを開催して
楽しく過ごせる機会を作ります。



4

病気や障がいについて
相談しやすい
仕組みをつくります。

たとえば・・・

→ 病気や障がいについて
専門の人たちが協力して
支援をする仕組みを考えます。



5

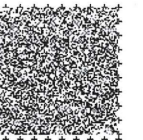
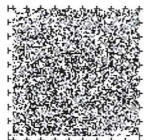
一人ひとりが
必要としている教育などを
受けられるように
支援をします。

→ 障がいのある子どもたちや
その家族が、安心して
教育などを受けられるように
取組を進めます。

6

発達障がいなど
さまざまな障がいにあつた
支援をします。

→ 障がいなどに早く気づいて
支援をします。
専門の人たちが協力して
切れ目のないように
支援をします。



基本目標2 互いを理解し つながり 支えあうまち

障がいのある人もない人も、みんながお互いのことを大切にする社会をめざします。

1 障がいのある人やその家族が
いろいろ困っていることを
相談しやすくします。



たとえば…

相談をうける専門の人たち
(地域福祉課やさぽーとぴあなど)が
地域の人たちや施設、学校、会社などと
協力して、障がいのある人の
相談を受けたり支援をします。



2 障がいを理由とした差別を
なくすようにします。
障がいについての
正しい知識を伝えていきます。



→

パンフレットなどを使って
まちで困っている人を見かけたとき
どのようにお手伝いしたらよいか
みんなに知ってもらうようにします。

→

障がい者施設のお祭りや
イベントを開いて
障がいのある人も、障がいのない人も
地域のみなさんと一緒に
楽しめるようにします。



3 障がいのある人もない人も
同じときに同じ情報を
知ることができるように
していきます。



→

手話や、わかりやすい日本語、
音声コードなどを使って
みんなが同じときに同じ情報を
知ることができるように
伝え方を工夫していきます。

基本目標3 尊厳や権利が守られ 安全・安心に

生活できるまち

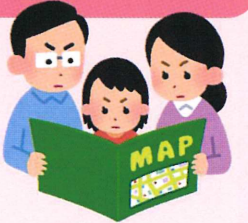
障がいのある人が、本人の意思を尊重され、安全・安心に暮らせることをめざします。

1 地震や台風などの災害が
起きたときに
困らないようにします。



たとえば…

地震や台風などの
災害が起きたときに
地域で助け合えるように
準備をします。



2 いやなことを言われたり、
叩かれたりするなどの
虐待をなくします。
自分で決めることの
支援をします。

→

障がいのある人を
虐待から守るための
取組を進めます。

→

自分で決めることが
難しい人を支援する
取組を進めます。

3 みんなが使う場所を
使いやすくします。



→

障がいのある人や
高齢者、外国人など
みんなが住みやすい
地域をつくりまします。

